



宮司プレス第百二十二号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成三十年 四月二十一日

◇宮司の柴田です。 境内の桜は散り尽くし葉

桜となり、春も半ばを過ぎました。 今年の桜は、例年にも増して早く開花し、三月下旬には満開を迎え、四月の上旬には華々しく散りゆきました。 平成二十三年四月に発行した宮司プレス五十九号にも詳述（しゅうじゅつ）しました。 休眠打破（きゅうみんだは）、いったい何の事でしょう、おわかりになりますか。 実は、桜の開花のメカニズムの事ではありません。 桜の花は、冬の低温がとても重要な要素でありまして、寒さという刺激が、その桜の花を長い眠りから目覚めさせるのであります。 イギリスの詩人「パーシー・シユリー」は、「冬来たりなば春遠からじ」という詩を残しています。 米国のシンクタンクであるユーラシアグループの代表である、イアンブレーマ氏は、「今、世界は、『Gゼロ』指導者が不在で、この十年は秩序の見えない混沌（こんとん）の時代が続く」と警鐘（けいしゅう）を鳴らしておられます。 まさに、厳しい逆境の国際社会の一員として、「冬来たりなば」冬に立たされていますが、辛抱し

ば、やがて、散った桜も再び盛りと咲く、「春遠からじ」、幸福が訪れるという、希望を持ちたいものです。 「堪忍（かんにん）は無事長久（ぶじちようきゆう）の基（もと）」ですので、辛く苦しいことも耐え忍びつつ、理想に向かって進みたいものです。 ナポレオン治世（ちせい）時代の「ああ無情」の作者である、ビクトルユーゴは、「未来は弱者には不可能、臆病者（おくびようもの）には未知、そして、思慮（しりよ）深く勇敢（ゆうかん）な者には理想という名を持つ」と述べられています。 未来を理想という名にするためにも、日々を積極果敢（せつきよくかかん）に、前向きに過（こ）したいものです。 ◇花は散ってもまた咲き、月も欠けてもまた、満ちますが、人の命は二世限りです。 徒然草（つれづれぐさ）第九十三段にも「されば、人、死を憎まば 生（しょう）を愛すべし。 存命（ぞんめい）の喜び 日々（ひび）に楽しまざらんや」と記（しる）されています。 自分が生きて、今存在しているという、これに勝る喜びがあるので

しょうか、死を憎むのなら、その喜びを日々確認し、今ある命を楽しむべきだと、生きている今のありがたさを自覚しなさいと、優しく諭（さと）されています。 今ある命に感謝（しん）を捧げる、これこそが、神社神道の真髓（しんずい）なのです。 江戸時代の国学者である、本居宣長（ほんけのり）さんは、「敷島の 大和心を 人とはば 朝日ににほう 山桜花」という和歌を残されています。 日本人の心である大和心とは何かと問われたら、それは、咲きにおう山桜花のように美しく尊いものだという意味です。 「存命の喜び」は、まさに、「朝日ににほう 山桜花」の心を忘れずに生活することではないでしょうか。 ちなみに、戦前のタバコの銘柄（めいがら）に、「朝日」「敷島」「大和」「山桜」があったことをご存知ですか。 じつは、本居宣長さんは、「思ひ草（たバコのことです）」を大変好まれていらつしやいました。 現代風にもうしあげると、かなりの「ヘビースモーカー」だったそうで、そのことにあやかり、ネーミングされたそうです。 ◇さて、本日、南風泊（はなぞまり）漁港で、恒例の「小型機船（こがたきせん）底曳網（そこびきあみ）漁業組合」の「網おろし」、海上安全大漁祈願祭を斎行（さいこう）しました。 船

の上に祭壇(さいだん)を拵(こしら)え、産土(うぶすな)の神様、彦島八幡大神様、船の神様、海の神様、そして、南風泊の海士(あまびとの守護神(しゅごしん))である恵比須大神(えびすおおかみ)様をお招きして御奉仕申し上げました。終了後は、舳先(へさき)から、船に乗り移り、塩と切麻(きりぬさ)で一艘(いっそう)、一艘、丁寧(ていねい)にお清めました。御札(おふだ)も、一艘(いっそう)つ、「為書(ためがき)」をします。御札の右側に、「祈海上安全 大漁満足」、そして、左側に、「為〇〇丸 氏名様」と墨書(ぼくしよ)させて頂きました。



今日は、春の海、

「のたりのたり」と波静かでしたが、やはり、海の上ですから、時折、揺らめきますが、足を踏ん張りつつ、集中力を保ちながら御奉仕申し上げます。晩春の風物詩であります。

◇私共をとりまく環境も厳しいものがありますが、前述のとおり、「堪忍は無事長久の基」、「存命の喜び日々を楽しませらんや」で、これからの未来が輝かしい理想となるようお祈りを申し上げます。

◇三月の祭典行事報告

▼月次祭 *三月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *三月一日

▼横浜ダイエヌエーベイスターズ下関ファン集いの会必勝祈願祭 *三月三



▼南風泊恵比須神社例祭 *三月十五日



▼春季祖霊祭 *三月二十一日

※家の宗旨が神道の方々の合同の祖霊祭

◆境内の桜 *三月三十一日



◇三月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◆維蘇志会役員会 *三月二日

◆敬神婦人会監査会 *三月七日

◆敬神婦人会役員会 *三月十四日

◆維蘇志会勉強例会 *三月十五日

◆奉納ランドゴルフ会打合せ*三月二十四日

◆維蘇志会監査、役員会 *三月三十一日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆山口県神社庁祈年祭、神宮大麻増頒布推進委員会 *三月七日

◆下関市神社総代会、下関市敬神婦人会役員会、支部神宮大麻頒布終了奉告祭、支部内研修会 *三月九日

◆薩長土肥神職の集い*三月十二日、十三日

◆大坪八幡宮白石宮司通夜祭参列 *三月二十三日

◆山口県神社庁下関支部施設慰問 *三月二十七日 ※陽光苑、梅花苑

◆山口県神社庁教学研究部委員会、研修会 *三月二十八日

◆山口県神社庁祭式研修会 *三月二十八日と二十九日

◆講演活動

◇神道会総会にて記念講演*三月二十一日

◇教誨活動、美祢社会復帰促進センター *三月二十二日

◇集合教誨(女子) *三月二十二日

◇下関西ロータリークラブ *三月一日

◇習字教室 *三月一日

◇教育関係

◇挨拶運動、玄洋中学校卒業式 *三月九日

◇西山小学校卒業式 *三月二十日